

人と魚と海のネットワーク
 香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>
 E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
 TEL 087-825-0350
 J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

平成19年度乾海苔共販結果

平成19年度の乾海苔共販は、3月29日をもって終了した。

取扱実績は、枚数3億21百万枚(前年比47%)、金額18億47百万円(前年比36%)、平均単価5.75円(前年比1.79円安)という結果であった。

19年度漁期は育苗期より低栄養塩で始まり、本張り、摘採と進みましたが栄養塩は回復することなく推移し、第1回共販の製品についてはクモリ系統が多く、本等級は8.5%と少なく、その後も栄養塩低下が進み、1月中旬には一部の漁場を除き、県下全体で7~8割の生産者が終漁した。

過去30年間で最も悪い漁期となり、漁家経営にとって非常に厳しい年となった。

共販結果(3月31日現在)

		香川	全国
十九年度	枚数(百万枚)	321	8,419
	金額(百万円)	1,847	75,518
	単価(円)	5.75	8.97
十八年度	枚数(百万枚)	678	9,042
	金額(百万円)	5,120	80,408
	単価(円)	7.54	8.89
前年比	枚数(%)	47	93
	金額(%)	36	94
	単価(%)	76	100.9

平成20年度放流事業計画

県漁連が昭和61年から毎年実施してきた大型種苗放流事業は、平成14年度からは(社)香川県水産振興協会の中核事業として継続して行い、6年が経過した。本年度も、クルマエビ・ヒラメ・オコゼ・タケノコメバル・ベラ・メバル・キジハタ・マダコの8魚種を計画しており、4月下旬より随時放流する予定である。

また、本協会では放流効果をより一層高めるために、漁業者・漁協・関係機関と連携し、資源管理型漁業の推進に努め、漁船漁業の活性化と漁業生産の増大に努めている。特に、平成18年度から取り組んでいるヒラメの放流効果調査については、平成20年度も混獲率調査(買取り調査) 漁獲調査(パンチカード調査) 単価調査の各調査の継続と、新規にヒラメの移動・分布調査を実施いたしますので、漁業者、漁協の皆様のご協力をお願いします。20年度放流事業計画の概要については以下の通りである。



放流用ヒラメ



放流用タケノコメバル

(1) 地区別放流割合

地区名	マダコ	クルマエビ	ヒラメ	オコゼ	ベラ	メバル	キジハタ	タケノコメバル
東 讃	18%	21%	31%	10%	0%	0%	10%	10%
高 松	18%	21%	25%	25%	11%	0%	0%	0%
小 豆	23%	3%	32%	13%	6%	11%	5%	7%
中 讃	23%	24%	22%	3%	13%	12%	2%	1%
三 豊	12%	0%	20%	26%	5%	17%	20%	1%
県全体	19%	15%	26%	15%	6%	8%	7%	4%

(注) 配分比率は各地区で決定

(2) 地区別放流数量

地区名	マダコ	クルマエビ	ヒラメ	オコゼ	ベラ	メバル	キジハタ	タケノコメバル	備考
	kg	千尾	千尾	千尾	kg	千尾	千尾	千尾	
東 讃	2,300	310	67	11	0	0	11.5	25	
高 松	2,300	307	51	27.5	900	0	0	0	
小 豆	2,900	47	64	14.2	500	23	5.7	17.5	
中 讃	2,900	360	45	3.5	1,100	24.5	2.3	2.5	
三 豊	1,600	0	39	27.8	400	35	22.8	2.5	
合 計	12,000	1,024	266	84	2,900	82.5	42.3	47.5	
種 苗 費	13,860	10,850	19,317	11,472	5,075	5,891	5,615	2,920	75,000

(3) 放流時期及びサイズ(予定)

- ・ヒラメ (人工) 4月~5月 約7cm
- ・タケノコメバル(人工) 5月 約5cm
- ・ベラ (天然) 5月 約5g(約6~10cm)
- ・マダコ (天然) 6月~7月 約1.0kg
- ・クルマエビ (人工) 7月 約6cm
- ・メバル (人工) 7月 約6cm
- ・キジハタ (人工) 9月 約5cm
- ・オコゼ (人工) 10月 約6cm

(4) 総事業費 7,550万円

- ・種苗費 7,500万円
- ・諸経費 50万円

放流魚紹介(タケノコメバル)

体色は黄色味が強く、褐色の斑点が不規則に散らばっています。クロソイによく似ていますが、やや細長くて口先がとんがっていること、両目の間が広くて、とげがほとんど目立たないことで見分けられます。全長40cm近くになります。12~1月に仔魚を生み、6月には4cm程度に成長し、岩礁域や藻場などで過ごすといわれます。

名前の由来はタケノコのとれる時期においしい魚であるからとか、体色がタケノコの皮に似ているからといわれます。昭和40年代までは普通に見られ

る魚でしたが、近年は激減し、水産試験場では平成10年から種苗生産の研究に取り組み、13年に大量生産に成功しました。



ニューフェイス紹介

アンケート項目

年齢	出身学校
出身地	趣味

漁連

<東京支所 販売課>

あさの いっぺい
浅野 一平

22歳
 北海道旭川市
 独立行政法人
 水産大学校
 温泉巡り



<東京支所 久里浜事務所>

きかもと こうじ
坂本 皓司

22歳
 広島県福山市
 独立行政法人
 水産大学校
 釣り



新しい会長紹介

(敬称略)

小豆地区漁業組合連絡協議会

新任 森 勝典
 (平成20年4月15日)

退任 木村 進



新しい組合長紹介

(敬称略)

四海漁協

新任 長 栄 保
 (平成20年3月19日)

退任 木村 進



鴨庄漁協

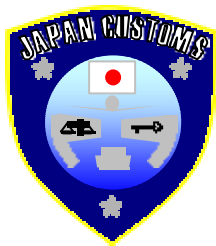
新任 石原 昌美
 (平成20年3月3日)

退任 山本 等



主な行事予定(5/1~5/31)

- 5月 2日(水) 漁連理事会
- 2日(水) 海苔研正副会長会議
- 20日(火) 漁協女性部連合会総会
- 22日(木) 漁連監事会
- 22~23日 決算監査
- 28日(水) 香川県水産振興協会総会



こんにちは、坂出税関です

Vol.2

高松港で覚せい剤約1.3キロを摘発!

坂出税関支署及び高松出張所は、2008年3月6日に高松港に入港した中国籍貨物船の中国人乗組員に対して職務質問を実施し、同人が着用するベストなどに隠匿していた覚せい剤約1.3キロを摘発した。

(2008年3月26日報道発表)

上記の事件は新聞報道などでご存知の方も多いと思います。今回の事件は、前回紹介させていただきましたが、税関が行っている密輸入に対する取締りの過程において摘発したものです。覚せい剤約1.3キロは末端価格にして1億円前後、薬物乱用者の通常使用量約43,000回分に相当し、香川県内における一度の押収量としても約3キロに次ぐ過去2番目の押収量でした。

今回こうした事件が高松港で発生したと聞いて驚かれた方も多いと思いますが、最近では2006年に姫路港において覚せい剤約6キロが摘発されるなど、地方港を狙った覚せい剤やけん銃といった一般社会に悪影響を与える物品が密輸入される事件が発生しています。こうした物品が日本へ入ってこないようにするためにも、不審な船舶などを見かけたり、密輸入などの噂を耳にしたりしたら、どんな些細なことでも税関までご連絡いただければありがたいと思います。

また、税関ホームページにも、今回の事件を始め、全国で摘発された密輸入事件についての報道情報や、一般航空旅客に紛れ込んで覚せい剤などを密輸入する事例など、様々な密輸情報について掲載していますので、興味のある方はぜひアクセスしてみてください。

最後になりましたが、現在、税関は北海道洞爺湖サミット開催にあたり、テロ対策警戒を関係官庁と共同で強化実施しています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



摘発した覚せい剤とベスト

税関ホームページ <http://www.customs.go.jp>

【坂出税関支署】0877-44-9211 【密輸ダイヤル】0120-461-961

【高松出張所】087-851-2874 【丸亀出張所】0877-23-7696 【詫間出張所】0875-83-3071